

国際理解教育/開発教育 学習指導（活動）案




【実践者】



授業者氏名	長田真希子	学校名	室蘭市立高砂小学校
教科（科目）・領域	総合的な学習の時間	対象学年（人数）	5年 1組（40名）
実践年月日もしくは期間（時数）	令和2年2月 ～ 令和2年3月（4時間）		

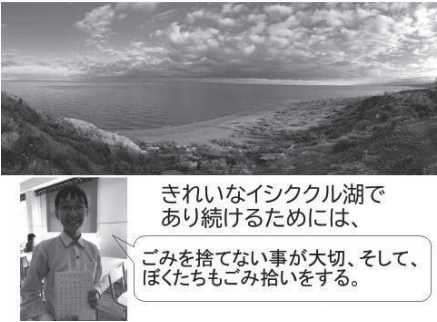


【実施概要】


1. 単元名（活動名）：環境とエネルギー						
2. 実施する教科・領域：		3. 学習領域				
総合的な学習の時間			1	2	3	4
		A 多文化社会	文化理解	文化交流	多文化共生	
		B グローバル社会	相互依存	情報化		
		C 地球的課題	人権	環境	平和	開発
		D 未来への選択	歴史認識	市民意識	社会参加	
4. 単元の目標（評価規準を意識して設定）：						
身の回りのエネルギーやごみ問題について自分達ができる事を考え、日常でSDG sを意識しながら実践することが出来る。						
5. 単元の 評価規準	①知識及び技能	身の回りのごみ問題に気付き、環境のために何が出来るかを考え、実践することが出来る。				
	②思考力、判断力、表現力等	環境のために何が出来るかを伝え合うことが出来る。				
	③学びに向かう力、人間性等	課題解決に向けて、進んで友達と取り組むことが出来る。				
6. 単元設定の理由・単元の意義 (児童/生徒観、教材観、指導観)	<p>【単元設定の理由】</p> <p>本校5年生の総合的な学習の時間、後期のテーマは「環境とエネルギー」である。2学期から、再生可能エネルギーや水素自動車などについて学習してきた。また、国連でのグレタさんのスピーチやSDG sと関わらせた学習など、他の教科においても環境問題と関わらせて考える場面が多くあった。世界を見つめて自分達の地域の課題について改めて自分自身で何が出来るかを考えられるようにしたいと思い、この単元を設定した。</p> <p>【単元の意義】</p> <p>省エネやリサイクルに努めたり、環境を汚さないような生活行動を取ったり、健康で快適な環境を積極的に創り上げていく態度を目標としていきたい。また、持続可能な社会の構築という視点をもたせながら、自分に出来る事を家庭で実践させていきたい。</p> <p>【児童/生徒観】</p> <p>体を動かす事が好きで、活発な児童が多い。班での話し合い活動では、自分の意見を伝えたり、友達の考えを受け入れたりしながらまとめる事が出来るようになってきた。</p> <p>これまでも児童は環境問題について考える機会を多くもっていたが、出来る事を実践しているようにはあまり見られない。自分達の身近な課題としてみつめさせていきたい。</p> <p>【指導観】</p> <p>家庭科で学習した3Rや社会科での公害や海の資源についての学習、道徳科でも環境問題について等、他教科で横断的に学習を進めていく。</p> <p>自分たちが住んでいる室蘭でも、高度経済成長期に鉄工業が盛んになったことで、煙害等の公害が問題となったことや、イタンキ浜のプラスチックごみ問題等、より身近な課題を解決できるようにさせていく。</p>					

7. 単元計画 (全4時間)			
時	ねらい	学習活動	資料など ※: JICA リソース活用 はここに記載
本時前 家庭科	キルギスの一村一品プロジェクトを知り、お金や物の責任ある使い方について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ○自分達の生活を振り返り、物を買う時の決め手について考える。 ○キルギスの一村一品プロジェクトについて知り、物の価値について考える。 ○SDG s の何と関連するかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・画像 ・SDG s 表 ・ワークシート ・キルギスのフェルト製品
1 本時	キルギスのごみ問題を基に、自分達の身の回りの環境問題について SDG s と関連させながら実践につなげようとする。	<ul style="list-style-type: none"> ○キルギスのごみ問題の課題を解決するためのアドバイスを考える。 ○自分たちの身の回りのごみ問題について振り返り、出来ることを考える。 ○SDG s の何と関連するかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・画像 ・SDG s 表 ・ワークシート ・画用紙
2 ～ 4	イタンキ浜のごみ拾いを通して、自分達の身の回りの環境問題について SDG s と関連させながら実践につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> ○身の回りの環境問題に目を向ける。 ○イタンキ浜のごみ拾いをする。 	

8. 本時の展開 (1時間目)			
本時のねらい: キルギスのごみ問題を基に、自分達の身の回りの環境問題について SDG s と関連させながら実践につなげようとする。			
過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点 (支援)	資料 (教材)
導入 (7分)	<p>1. キルギスと室蘭のごみ問題の現状を捉える。</p> <p>○イシククル湖の美しい画像を見る。</p>  <p>イスラン・オムルベコヴィッチ君 ビシュケク市69番学校 7年生(日本の中学1年生)</p>  <p>きれいなイシククル湖であり続けるためには、 ごみを捨てない事が大切。そして、ほぐたちもごみ拾いをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イシククル湖はとてもきれい。 ・キルギスを代表する湖なんだね。 ・キルギスの誇りなんだね。 <p>○イシククル湖のごみが落ちている画像を見る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・イシククル湖もイタンキ浜も、そこに住んでいる人にとって、大切な場所であることを抑える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イシククル湖とイタンキ浜の画像 (美しい景色、キルギスの子供、ゴミが落ちている様子)

	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみが多くていやだな。 ・なんでこんなにもごみがあるんだろう。 <p>○イタンキ浜の美しい画像を見る。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・イタンキ浜でバーベキューをしたよ。 ・家族でイタンキ浜に行ったよ。 <p>○イタンキ浜のごみが落ちている画像を見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そういえばごみが落ちているのを見たことがある。 ・いろいろなごみがみられるな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イタンキ浜と自分達の関わりを振り返らせる。 	
<p>展開 (23分) 5分</p>	<p>2. 本時の課題を掴む。</p> <p>課題：みんなが気持ちよく暮らせるために、ごみを減らす、ごみを出さないための解決方法を考えよう。</p>		
<p>7分</p>	<p>3. 課題の解決方法を考える。</p> <p>○K J法を使って仲間分けしてまとめる。</p> <p>①自分で、もしくは身の回りの人達と一緒に出来る事を付箋に書く。(個人)</p> <p>②班ごとに画用紙にまとめる。(班) ＜5人×4グループずつ＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの分別をする。 ・ごみを持ち帰る。 ・食べ残しをしない。 ・ペットボトルではなく、水筒を持つ。 ・ごみを拾う。 ・レジ袋を使わずエコバックを持つ。 ・リサイクル ・ごみ箱を置く。 ・ポイ捨て禁止ポスターを作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な種類のごみがある事を思い出させる。 ・自分達の環境に対する日頃の取り組みを振り返らせる。 ・後で班ごとに発表することを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○イシクル湖の写真(配布用) ○イタンキ浜の写真(配布用) ○付箋 ○画用紙

<p>11分</p> <p>まとめ (15分) 4分</p>	<p>1班 イシククル湖、イタンキ浜をきれいに！</p> <div data-bbox="304 174 815 555" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>ごみ拾い</p> <p>ポスター</p> <p>持ち帰る</p> </div> <p>③班ごとに発表する。</p> <p>◇多かった解決方法は何か。</p> <p>◇なるほどなと思った解決方法は何か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分達でも出来る事がありそうだな。 ・似たような内容が結構多いな。 <p>4. キルギスの人々の思いに触れる。</p> <p>○キルギスの子供達の思いを知る。</p> <div data-bbox="352 1010 791 1330">  <p>きれいなイシククル湖で あり続けるためには、 ごみを捨てない事が大切、そして、 ぼくたちもごみ拾いをする。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・キルギスの人々も自分達と同じ思いでいるんだなあ。 ・キルギスでも日本でも自分達と考える事は一緒だね。 <p>○現在のキルギスや室蘭の環境に配慮した取り組みについて知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キルギスでも日本と同じようにごみの分別をしているんだね。 ・室蘭の鉄工場でも環境を守るための取り組みをしていたよね。 ・世界中で環境に対する意識が高まってきているんだなあ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が発表した内容を黒板に整理する。 ・自分と、自分達の班の意見と比較しながら聞くようにする。 ・環境に対する思いは、キルギスの人達も自分達と同じであることを抑える。 <div data-bbox="898 1167 1082 1413">  </div> <div data-bbox="1107 1234 1433 1413">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ・既習学習を振り返る。(総合、社会、家庭科など) ・一人一人の意識や取り組みが大きな力になる事に気付かせる。 <p>・SDGsと関連させ</p>	<p>○キルギスの画像 (キルギスの子供、ごみの分別ごみ箱)</p> <p>○SDGs表</p>
--	---	--	--

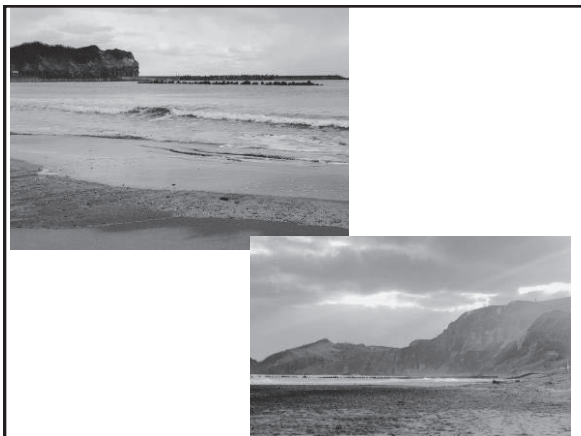
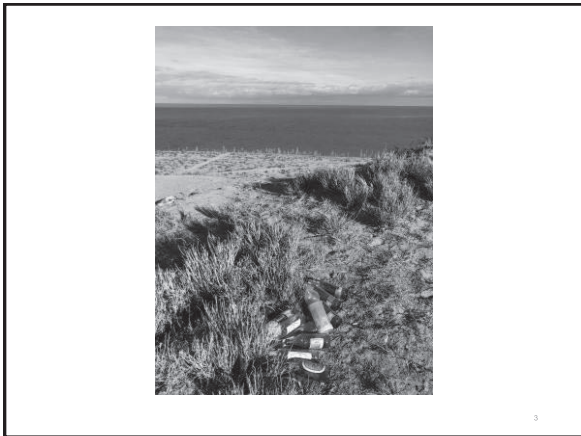
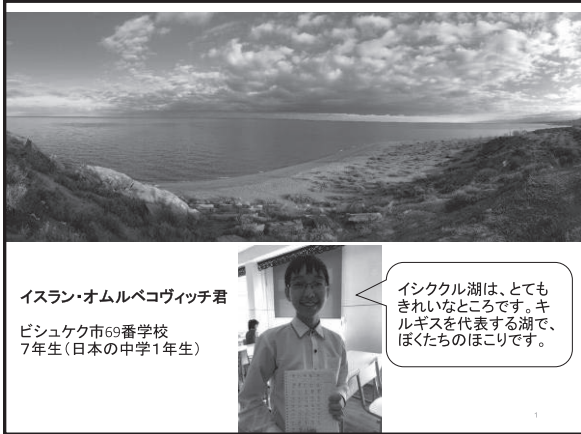
<p>7分</p> <p>4分</p>	<p>5. SDG s と関連させる。</p> <p>○本時の学習が SDG s の何番と関係があるかを考えて発表する。(SDG s 表)</p> <p>6. まとめ</p> <p>○実際に行動に移せることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イタンキ浜のごみ拾いに行こう。 <p>○本時を通して、新しく気づいたこと、気持ちの変化などを書く。</p>	<p>て考えさせる。</p> 	<p>○ワークシート</p>
<p>9. 評価規準に基づく本時の評価 (評価方法)</p> <p>・キルギスのごみ問題を基に、自分達の身の回りの環境問題について SDG s と関連させながら実践につなげようとしている。(行動観察、ワークシート、発表)</p>			
<p>10. 学習方法および外部との連携</p> <p>9月12日 日本製鉄工場見学</p> <p>日本製鉄を見学し、現在では環境に配慮した取り組みをしていることについて理解した。</p> <p>10月24日 パナソニック出前授業</p> <p>パナソニックから講師を招き、実際に発電機を使いながら、発電をする事と環境との関連性について考えた。</p> <p>10月30日 交通エコロジー教室</p> <p>北海道運輸局、室蘭市リサイクル協働市民協議会との共催により、地球温暖化対策について考えた。</p> <p>12月18日 SDG s カードゲーム</p> <p>室蘭出身、札幌在住の SDG s カードゲーム公認ファシリテーターを招き、持続可能な社会について考えた。</p>			
<p>11. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取り組み</p> <p>総合的な学習の時間以外にも、参観日に家庭科の授業でキルギスの一村一品プロジェクトを教材にしたり、外国語活動で異文化理解につながるような授業づくりをしたりした。</p>			

【自己評価】

<p>12. 苦労した点</p>	<p>実際にキルギスに赴いてから見つけた課題だったため、事前に下調べが出来なく、資料集めが困難だった。</p> <p>帰国してから、現地の協力隊員である本田隆介さん、帰国した広中歩さんに連絡を取り、電話やメールを通して資料を集めた。特に、キルギスの人の思いに触れられるように、インタビューをしてもらうなどして協力していただいた。</p>
<p>13. 改善点</p>	<p>新型コロナウイルスの影響に伴い、本時の授業を実施できなかったが、帰国後の事後研修での指導案検討を通して改善点を述べる。</p> <p>当初、ごみが落ちている画像ばかり提示していたが、キルギス人が写っていたり、キルギス人の思いが伝わったりしている資料を入れるようにした。</p>
<p>14. 成果が出た点</p>	<p>新型コロナウイルスの影響に伴い、授業を実施できなかったが、事前に行った家庭科の授業等での成果について述べる。</p> <p>実際に具体物を提示した事で関心を持たせることが出来た。現地で買ったフェルトで製作されたものを手に取り、そのぬくもりを感じたり、現地で働く女性たちが働いている様子を見たりして、物やお金の価値について考える事が出来た。</p>
<p>15. 学びの軌跡 (児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)</p>	<p>児童の言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本とキルギスは似ている所も違う所もある。世界が兄弟のように協力しながらやっていると良い。 ・日本とキルギスは、同じ所だけでなく、違う所もあるから良い。 ・キルギスの人は、日本と同じように文化や伝統を大切にしている。 ・国と国は欠けている所を支え合っていけばいい。 ・日本だけが好きだと思っていたけど、他の国へも行って日本との違いを探したい。 <p>キルギスという国を知った事で、考えを広げたり深めたりすることが出来た。自分達との違いを受け入れようとしたり、他の国へも目を向けようとしたり、日本の良さを感じたりするなど、自分自身の事として真剣に考えていた。</p>
<p>16. 授業者による自由記述</p>	<p>教師海外研修でキルギスへ訪問することになり、たくさんの子供達に伝えたいと思った中から、今回の授業は「環境」をテーマに進めてきた。総合的な学習の時間、家庭科、社会科、理科などの他教科とも関連させ、自分達の日常を振り返らせるようにしたいと思った。</p> <p>また、海外のキルギスという国に目を向ける事で、自分達の住んでいる地域の課題に結び付けさせていけるような授業作りをした。そこから地域への愛着をもつ事につなげていきたいと思ったからである。自分達と同年代の子供達の思いに共感しながら、身近な課題を自分事として考え、解決していこうとする姿勢は、SDGsのゴールにもつながると考えられる。</p> <p>残念ながら、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、授業実践が出来なかったが、その学年の子供達に合わせて指導案を作成し、実践していく予定である。</p> <p>学級の子供達は、キルギスのお土産話や映像を興味深そうに見入っていた。ま</p>

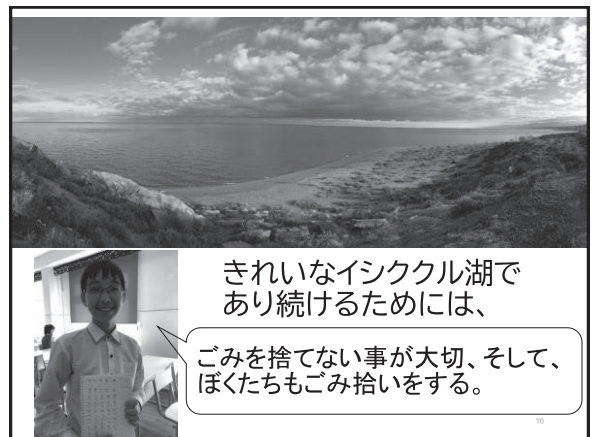
	<p>ずは、知ることが、国際理解教育への一歩だと思う。</p> <p>この教師海外研修を通して、橋詰先生、東峰先生、JICA 職員のみなさん、一緒に研修をしてきたキルギスメンバーなど、多くの方から助言をいただき、大変感謝している。特に、指導案検討に何時間も費やして、何度も作り直したことは、大変勉強になった。また、本校の校長先生はじめ、先生方の温かい配慮の下、研修に打ち込めたことも感謝に堪えない。教師海外研修は、私にとって大きな財産となった。引き続き、様々な形で授業実践しながら、還元をしていきたい。</p> <p>ありがとうございました。</p>
--	---

参考資料：





課題
みんなが気持ちよく暮らせるために、
ごみを減らす、ごみを出さないための
解決方法を考えよう。



自分達に出来る事は？

13

5年総合 環境とエネルギー

名前 ()

課題： みんなが気持ちよく暮らせるために、ごみを減らす、
ごみを出さないための解決方法を考えよう。



何番と関わりがあるかな？
その理由は？

この授業を通して、新しく気づいたことや、気持ちの変化などについて
書こう。